

# 討 論

次の議案について、本会議で討論が行われ、表決の結果賛成多数で可決しました。

◎第68号議案 平成17年度白石市各会計歳入歳出決算の認定について

〔反対〕歳入が厳しい状態にあることは監査委員の指摘の通りであり、市税は年々減少し、地方交付税が減少している。一方、医療・福祉・扶助費などの費用は増大している。このような状況に対応すべく、第三次行政改革大綱を策定し16年度と比較して2千5百万円の補助金・負担金の減額を行ったという説明があった。

しかしながら、行財政改革の根幹である経常経費の削減、とりわけ人件費はその比率においても増加をしており削減への取り組みが、どの段階まで進んでいるのか、その作業工程が不明確といわざるを得ない。行政評価事業について

も、複雑な作業があるとの説明があったが、どこにメスを入れて行政事業を整えて行くのか基本的な観点や方向性が不明確であり、総じて産業・雇用政策には見るべきもの、手応えを感じるものがなく、市民の最大の要望に応えていくとはいえない。

よって、本案に反対する。

〔賛成〕本市は、市税の低迷、三位一体改革の厳しい財政状況にあって、福祉行政の基礎である沖の沢郡山線などの道路整備をはじめ、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりにむけ、緊急性、必要性から様々な施策を推進してきた。一方、財政状況においては総務省が本年度から導入した指標である実質公債費比率において、県平均15・3%を大幅に下回る8%台であり、他の自治体がうらやむ財政状況にある。

これらのことから、各会計においては最小の経費で最大の効果が得られたものと考えられる。よって本案に賛成する。

# 議会報の編集と数字表記について

議会だよりご愛読ありがとうございます。

読者の皆様より、左記の2点についてご指摘をいただきました。

議会報特別委員会で協議の結果、次の編集方針に基づきことにいたしましたのでお知らせいたします。

1、紙面に敬体(です、ます体)と常体(だ、である体)が混在している。特に一般質問のページでは議員が敬体であるのに対し、答弁は常体を使用しており、統一した方がいいのではないかと。

## お答えと編集方針

○読者に直接お知らせをするページ(例、定例会の概要など)

基本的に敬体を使用します。

○一般質問

〔質疑〕については議員から提出された質問の要旨を原文のまま掲載していましたが、次号より常体に統一します。〔答弁〕については、できるだけ多くの情報を掲載するために文字数を確保できる常体とします。

## お答えと編集方針

○議案番号、金額ともにアラビア数字を使用します。

なお、ケタ数の多いものは次のように表記します。

例)二億三千四百七十六万五千二百六十四円↓2億3千4百76万5千2百64円などです。

例外)行事等の正式名称に漢数字が使用されている場合など

例)第五十六回市民の会などです。

2、数字表記に漢数字とアラビア数字の混在している。

〔例〕整備したいと考えております。↓整備したい)

〔例〕七十一号議案 81号議案など)

議会広報特別委員会では、今後とも皆様にわかりやすく、読みやすい紙面作りにつとめて参りますので、お気軽にご意見、ご感想をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。また、議会の傍聴にもぜひお越しくださいますよう併せてご案内いたします

※豆辞典はお休みさせていたいただきます。

